

令和5年度 松阪市過疎地域持続的発展計画に関する評価

松阪市過疎地域持続的発展計画に掲載の施策等について、『第9回 過疎地域の持続的な発展を考える会』において、計画の達成状況について下記のとおり評価を行いました。

基本的な事項

(5)地域の持続的発展のための基本目標

指 標	現状(H27年度国勢調査での両管内の総人口)	目標(R7年度)	R5年度末実績
人 口	8,478人	6,533人	7,150人 (6.4.1現在 住民基本台帳)

(施策1) 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
空家バンク成約世帯数	66世帯	104世帯	136世帯

(施策2) 産業の振興

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
各揚水機の稼働率	100%(R2)	100%	100%
素材生産量	40,000m ³ (R1)	44,800m ³	40,337m ³
観光施設利用者数増減率(平均)	100%(R2)	102%	114%
宿泊施設への宿泊者数増減率	100%(R2)	108%	115%
香肌峡ホームページのアクセス数	累計40,000アクセス(R2)	累計150,000アクセス	累計 221,254アクセス (R6.3.31)

(施策3) 地域における情報化

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
防災行政無線の稼働率	100%	100%	100%

(施策4) 交通施設の整備、交通手段の確保

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
自家用有償旅客運送車両台数	2	4	2
橋りょう長寿命化事業完了率	31%	100%	69%

(施策5) 生活環境の整備

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
公共浄化槽の世帯数に対する整備率	飯南管内 63.0 % 飯高管内 61.7 %	飯南管内69.0 % 飯高管内65.0 %	飯南管内 66.72 % 飯高管内 67.71 %
地区防災計画策定数	1	4	1

(施策6) 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
公立保育園・認定こども園数(休園を除く)	3	3	3
飯南高齢者・障害者福祉施設ふれあいセンターの複合利用施設としての年間利用件数	489件	300件	574件
飯高高齢者生活福祉センター居室部門の月単位稼働率	86.50%	100%	32.10%
飯高老人福祉センターの年間利用人数	986人	1,200人	1,675人
飯高保健センターの年間利用人数	2,753人	3,700人	5,187人

(施策7) 医療の確保

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
飯南眼科クリニックにおける更新が必要な医療機器の更新率	0%	100%	100%
宮前・森・波瀬診療所における更新が必要な医療機器の更新率	0%	100%	100%

(施策8) 教育の振興

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
地域と連携して教育活動を行っている学校数	中学校 1校 小学校 2校	中学校 2校 小学校 4校	中学校2校 小学校4校

(施策9) 集落の整備

指 標	現状(R2年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
空家バンク成約世帯数	66世帯	104世帯	136世帯

(施策10) 地域文化の振興等

指 標	現状(R1年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
飯南産業文化センター延べ利用者数	26,875人	29,562人	16,429人

(施策11) その他地域の持続的発展に関し必要な事項

指 標	現状(R1年度)	目標(R7年度)	R5年度末実績
飯南コミュニティセンター延べ利用者数	3,625人	3,987人	4,907人
飯高林業総合センター延べ利用者数	2,926人	2,926人	1,951人

(質疑・意見など…次ページ参照)

(質疑・意見など)

- (会 員)各施策の目標数値の設定は、コロナ禍(令和2年度中)の中で行われたものだと思う。現状とは前提条件も異なり、すでに令和7年度の目標数値を達成している施策も見受けられる。今後、目標数値を修正することはあるのか。
- (事務局)令和2年度の目標数値設定時とは社会の状況も変わっていることは認識している。しかし、目標数値の設定は、R3からR7を見た時のトータルで考え目標数値を設定したものであり、途中で修正した場合、年度ごとの数値も修正する必要が生じる。その場合、修正前後の各年度において比較対象の数値が変わることとなるため、これまで行ってきた評価にも影響を与えることとなるため、目標数値の設定を変更することは考えていない。ただし令和8年度から5年間の後期計画策定時については、前期(令和3年度～令和7年度)の5年間の数値・傾向も見ながら目標数値を設定することになると考えている。
- (会 員)同じ質問をしたいと思っていた。企業などでは、必要に応じて目標数値の上方修正を行うこともある。では逆に、目標値が達成されていないものについては何らかのアクションを起こしていくことはあるのか。
- (事務局)そのようなご意見があることは承知しているが、設定されている目標数値は各所属において設定されたものであり、また、お示しさせていただいた実績も、各所属において作成いただいた数値となっている。この実績については、各所属へもフィードバックさせていただいており、目標数値の達成について様々な施策・事業を実施していただけるものと考えており、実際に目標数値達成のための新たな事業を新設された所属もある。このように、実際の業務においては、目標数値が達成されているか否かによらず、毎年各所属において業務の見直しや改善も行っているところではある。
- (会 員)評価項目「飯高林業総合センター延べ利用者数」では、新型コロナウイルス感染症がいったん終息した後も目標値の2/3程度で推移している。本施設は、公民館活動などの地域活動が行われている施設で、地域の活性化度も示す重要な数値だと考えているので、実績の数値を見ると心配するところもある。(意見)
- (会 員)各所属へフィードバックしているということだが、評価項目「飯高高齢者生活福祉センター居室部門の月単位稼働率」では、飯南飯高管内の居住部門集約(令和3年度)をもってしても令和5年度の稼働率は30%程度である。「飯高高齢者生活福祉センター」の居室を利用することは、「住み慣れたこの地域で安心して住み続ける」ためには有効な手段ではあると思うが、最近の傾向として、自分で生活可能なギリギリまで自宅(持ち家)で過ごした後、「飯高高齢者生活福祉センター」を利用せずに有料老人ホームなど「民間の福祉施設」へ行かれる方が多いのではないかと思う。そのような状況の中で、「100%の稼働率」という目標数値の達成は厳しいのではないかと感じる。この施設の良さをPRして稼働率を上げていく必要があると思っている。

- (事務局)目標数値設定時点では86%程度の稼働率であったこと、また、会員のおっしゃるように、「住み慣れたこの地域で安心して住み続けることができる」ことにつなげるため、利用への期待も込めて100%という目標数値としているのではないかとと思われる。
しかしながら会員がおっしゃられたような最近の傾向があるのだとすると、稼働率100%の達成は難しいのかもしれないが、本施設を利用いただく良さをもっとPRして、稼働率向上につなげていければと思う。
施設管理者側としても問題意識を持っており、改善に向けた努力をしていただいていると聞いている。
- (会 員)自分の家での生活とは違うものの、高齢者の方が地元で地域の人たちと生き生きと交流しながら、生きがいを持って生活していくことができる施設であると思うので、PRなどで利用を促進していくことが必要であると思う。
- (会 員)その他に、現在考えている、または近々予定している施策・事業で具体的なものがあれば説明していただきたい。
- (事務局)本日の他の項目にも関連してくるが、新たな取り組みで大きなものとしては、令和5年度末に設立、今年度7月1日から運営が開始された、「松阪市香肌地域づくり協同組合」がある。
これは、総務省の「特定地域づくり事業協同組合」の制度を利用したもので、地域の、(特に若者を中心とした)人口流出の減少、地域内事業所の担い手(労働力)不足の解決、担い手を育成することによる地域内産業の維持・活性化などを目的としている。
本地域ではこれを移住定住事業と組み合わせることで移住定住の促進も図り、この取り組みをさらに効果的なものとしていきたいと考えている。
また、継続している事業としては、サイクリング大会の開催、トレイルラン大会の開催などを通じて、観光交流人口、関係人口の創出につなげるべく取り組みを行っているところである。
他にも、令和6年度の飯高駅の小規模宿泊施設の建設のほか、地域公共交通の充実として、令和6年4月から飯高管内でデマンドバスの運行が始まっており、地域住民の利便性の向上を図ったところである。まだ2か月を経過しただけではあるが、利用者数も対前年比で1.5倍程度と好評である。
このように、移住定住や誘客等のため、地域外に向けた魅力化の取り組みと、地域内住民の利便性向上による取り組みを組み合わせることにより「安心して住み続けられる地域づくり」につなげていきたいと考えている。
今後とも、皆様のご協力をお願いさせていただきたい。

(会議の状況写真・・・次ページ参照)

(会議の状況写真)

